

- 主な内容 -

P2 | 山形 月山SEA TO SUMMIT2023

P6 | 特集「地域とともに歩む西川町立病院

身近な医療機関としてご利用ください！」



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にししかわ

2023

令和5年

8月号

No.809

7/23 アクティビティ

23日はアクティビティが行われ、スタート地点の月山湖からゴール地点の月山山頂までの総距離約21.5kmのコースを参加選手は、カヤック・自転車・ハイク（登山）で楽しみながら汗を流し、雄大な自然を満喫しました。



初開催! 環境に思いを巡らせ、自然を体感 山形 月山SEA TO SUMMIT2023

7月22日・23日の2日間、「山形 月山 SEA TO SUMMIT2023」が開催され、全国各地から約200人が参加しました。
「SEA TO SUMMIT」は、海（湖）・里・山を人力のみで進む中で、自然の循環に思いを巡らせ、かけがえのない自然について考えることを目的とした環境スポーツイベントです。

7/22 環境シンポジウム

22日は交流センターあいべで環境シンポジウムが開かれ、西川小4年生の「水源地宣言」や2010年から世界中を自転車でめぐる旅を続けるパッシュファミリーの講演、中井徳太郎前環境事務次官とモンベルグループ代表・辰野勇さん、そして菅野町長によるクロストークが行われました。





菅野大志の

「いどばた会議」

vol.14

まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

1. 町民のみなさまの対話と、ソフトパワーへの期待

(1) いろんな会で対話ができうれしい!

- ・ 上間沢ミニデイ 誕生日のお花をいただき感謝!
- ・ 地域おこし協力隊インターン生との協働作業と対話
- ・ 本道寺地区会との本道寺口からの登山!本道寺口→山頂→姥沢をリフトを使わず12時間! 月山で1番美しいコースかも!
- ・ 月岡・本道寺、海味3、吉川4のビアガーデンに参加!



(2) 有志のソフトパワーが重要だ!

7/17 入間の愛染院でのお寺縁日開催!

「すっだいこと補助金」で町がサポートしている「ままas」が中心となって、入間区などの皆さまとともに、子どもが楽しむ縁日を企画。暑い中、ありがとう!他町の参加者が「西川ってエネルギッシュだよね!」と嬉しい言葉!



2. よく質問いただくことをまとめてみました!

最近では、中小企業庁、青森県、那須塩原市、福島県棚倉町、福島県鮫川村、三菱東京UFJ銀行、郵便局関係者などお話する機会が増えました。

(1) 職員をやる気にさせるには?

適正な評価(人事評価のボーナス反映)と、チームでの達成感を病みつきにする!

(2) これから求められる公務員像は?

- ① 観光客を1人でも多く、西川に連れてこれる公務員
- ② 困ったときに町民に呼びかけ、町民を5人以上集めるほどの信頼感のある公務員。
- ③ 丁寧に対応して、ふれあい、協働し、1人でも多く移住者を導く公務員



(3) なぜ、移住が増えているのか?

おかげさまで供給できる住宅が少なく、人口の社会減(転出-転入)が止まりつつあります。理由は3つ。①面白いことに取り組んでいる、②「つなぐ課」が丁寧に町外の方と町民につないでいるため、想いが伝わっている、③地域おこし協力隊インターンや観光客から関係人口・西川ファンが増えている

(4) 若者を観光ターゲットにしている戦略は?

国の調査では、20代が最も地方への関心があるという回答。20代は、地方でパソコン1つで働ける場所を探しています。このため、パソコンで彼らが仕事できる施設をあいべの近くに建設します(2024年4月開業予定)。このような施設は西村山郡にありません。

今月の大ニュース!

『西川の中学生・高校生がバレー・カヌー・陸上・剣道で全国へ!25名も!嬉しい!』

ご登録お願いします!



▲町公式LINE



▲オープンチャット

(5) 関係人口に本気で向き合っているのはなぜか?

謎解きゲーム・サウナ・デジタル住民票で若い人が西川に沢山来ています。この方々を関係人口・西川ファンにして、離れている時もファンクラブサイトで西川を意識してもらい、移住につなげる。関係人口を進めると国からの補助金も貰いやすいです。

(6) デジタル活用をどう市民・町民に説明したら納得いただけるか?

これから、人工知能やデジタルが西川を便利にしてくれます。デジタルや人工知能を最初から理解するのは難しく、電気のように「発電過程はわからないけど、便利に生活している!」、デジタル・AIはこんな感覚なんだと思います。

(7) 好きな言葉「単純明快」なのはなぜか?

大好きな「坂の上の雲」で秋山好古が好む言葉。男子は一事を成し遂げればいいと考え、単純に生きようとしています。政治も、政策や想いを伝えることが必要です。

(8) これから求められる首長像は?

これまでは、安定した名誉職というイメージ。現在は、国が補助金申請の競争を前提としているため、自身の地域を勝ち組にする経営者でなくてはなりません。

3. 西川町の報道と8月・9月のイベント

(1) テレビ番組

1	8/13(日) 22:30	BSテレ東(BS7ch) 「地域にエール!まちカケル」	温泉ガストロノミーin西川町を紹介! 中村雅俊さん「綱取のおもてなしがすごい」とびっくり
2	9/18(月) 22:30	BS朝日(BS5ch) 「サウナを愛でたい」	ヒヤダインさんとともに県内サウナランキング第7位 (サウナイキタイより)の水沢温泉館を紹介!

(2) 7月の主な新聞報道(紹介された事業、全てが国の補助事業だ!)

- ・ おらだの言葉、おしえてくれる!人工知能の先生オーディション!
- ・ 西川中3年生が仮想空間(メタバース)を体験!
- ・ モンベルとの協定・シートゥサミットの開催!
- ・ 真夏の噴水ランキング 全国第2位 月山湖大噴水!
- ・ 西川町で新事業 キャンピングカーで移住体験!
- ・ 西川中、全国中学カヌーで優勝! 土田・佐藤組など!
- ・ 西川で事業を起こす100DIVE!町民の参加もお待ちしています。



(3) 対話会 1ミリでも関心あれば参加お願いします!

1	8/20(日) 13:00~	一戸建てモデル住宅見学会&一戸建て建築の相談会	つなぐ課移住サポートチーム
2	8/29(火) 19:00~	産業複合施設、来春の完成へ向けて、いよいよ着工!! 実施設計披露と愛称や利用料について考えるワークショップ	商工観光課

病棟・地域包括ケア病床の利用ができます

院内の病床は、一般病床が34床、地域包括ケア病床が9床の43床です。
令和2年9月から「在宅復帰を支援するための病床」地域包括ケア病床の運用を開始しました。

地域包括ケア病床とは

- 症状が改善し、自宅等への復帰に向け、経過観察が必要な方を対象
- 症状が安定し、自宅や居宅系介護施設への復帰に向け、リハビリが必要な方を対象
- 在宅療養に向けて、生活の準備や調整が必要な方を対象
- 60日まで入院が可能
- 入院費用は、1日当たり定額制の料金（医療費の負担上限が定められた方は、一般病床の場合と負担額の上限は変わりません）

退院後の暮らしでの心配ごとは

他の医療機関や福祉・地域と連携し、できるだけ住み慣れた環境で生活できるようサポートしていきます。お気軽にご相談ください。

☆各種検査・運動が可能です☆

放射線

胸部X線検査や乳がん検査のマンモグラフィ、頭部や腹部のCT検査などを行います。腰椎と大腿骨の2カ所で検査する骨密度の検査機器を新たに更新しました。



▲CT装置



▲骨密度測定装置

内視鏡

胃内視鏡は経口と経鼻用の内視鏡ファイバースコープがあります。大腸内視鏡はお腹が苦しくならないような装置を導入し検査を行います。また、大腸ポリープ切除も行っています。



▲内視鏡ファイバースコープ

リハビリテーション

入院では、土日を除き、平日は毎日リハビリテーションを実施しています。主に運動器、脳血管、廃用症候群といった疾患に対する運動を行っています。また、外来リハビリテーションでは、主に整形外科に関する肩や腰、膝の痛みといった運動器疾患に対するリハビリテーションを行っています。予約頻度は概ね週に1～2回です。特に膝の痛みに関しては、バイクを駆動する運動では、またぐ形でなく、座ったまま運動できる器具ですので、高齢の方や自転車の運転に自信のない方でも膝への負担を軽減した状態で運動できます。



▲リハビリマシン

多くの医療スタッフが働いています

病院内では、薬剤の取り扱いやワクチンの保管管理を行う薬剤師、血液や尿、便などの検体を検査する臨床検査技師、入院患者の食事の献立、栄養指導を行う管理栄養士、医療全般の相談をお受けする保健師、社会福祉士の資格を持った職員がいます。またボイラー等の設備管理や夜間宿直の職員、委託している清掃や調理、窓口事務の職員など、多くの医療スタッフが働いています。



特集

**地域とともに歩む西川町立病院
身近な医療機関としてご利用ください!**



町立病院は町内唯一の医療機関であり、地域住民の健康を守る「壁」として大きな役割を担っています。
コロナ禍においては、皆さんからご理解とご協力をいただき診療等を行ってきました。
現在はウィズコロナ、アフターコロナとして感染対策を継続し診療等に当たっています。
町立病院が町民皆さんの信頼を得ながら「地域とともに歩む病院」として、スタッフ一丸努めていきます。身近な医療機関である「町立病院」をぜひご利用ください。

外来診療・週一回整形外科の診療があります

内科と外科の両方を診る「総合診療科」として診療を行っています。また、週一回は整形外科と透析の診療を山大医師が担当しています。その他に、発熱外来や夜間診療、訪問診療、出張診療、予防接種、ケアハイツ入所者診察など多岐にわたり診療を行っています。なお、透析は6台の装置があり、月から土曜日に診療しています。



▲外来待合室ロビー

令和5年度以降の住宅建設方針

(1) 令和5年度の住宅建設等

● 家族で住める・企業の借上社宅としての利用も可能な3LDK建設中！

現在、昨年度建設した町営アパートの向かい側に3LDKアパートを2棟建設しています。12月末の完成を目指して、大工さんをはじめ町内業者の方々が建設にあたられています。

- 建設戸数：8戸 ※うち4戸は企業の借上社宅としての利用が可能!
- 入居の募集：11～12月頃予定。アパートの完成後は内覧会を開催。
- 入居：2月上旬予定
- 若い世代に長く住んでもらえるよう、同居する子どもの数によって、1人の場合5,000円、2人以上の場合10,000円の家賃控除の適用もあります。
- 入居すぐ利用可能!インターネット完備!利用料は今後設定する家賃額に含みます。
- シックな外観と配色にこだわったアパートです!



▲3LDKの完成予想図

● 官民でアパート建設！

民間事業者による住宅建設の対話会を行いました。対話会では、町民の皆さんから入退きの面など町の管理を求める声などがありました。現在、町が希望する内容のアパート建設について対話会での町民の声に基づき民間事業者から提案募集を行い、町は民間事業者が建設したアパートを借り受けていくこととしました。今後、アパートを建設する民間事業者が決定次第、引き続き町もアパート建設に関わりながら進めていきます。

また、町道除雪の心配の声もいただいておりますので、除雪業者と打ち合わせを行い、除雪方法を確認していきます。

- 町が希望する内容：2階建・10戸(1LDK)
- 入居時期：令和6年4月から
- 建設場所：吉川地内西川中プール跡地

(2) 今後の方針

● みどり団地

みどり団地内未分譲地には、25年度マイホームの建設を望む声もあるため、今後行われる住宅対話会で求められる住まいの形を話し合い、最適な土地の利用を考えていきます。

【地図】



地図区画	住宅名	内容
①	みどり住宅E棟・F棟	12戸全室入室済み
②	3LDKタイプ	12月末の完成を目指し現在建設中(全8戸) 昨年度、①のアパート募集の抽選で漏れたお二方を優先に入居できるようルール整備
③	25年マイホーム	3区画、令和6年度建設予定
④	未分譲地	住宅対話会での意見を参考にして利用します

● 空き家の活用

現在、賃貸可能な町営アパートはコーポ睦合の1室のみになっています。地域おこし協力隊や移住者の増加に対応できる住宅が不足しています。空き家の活用のため、ぜひ空き家バンクへの登録をお願いします。

西川町へ住みたい方、お知り合いの方が住宅や土地を探していらっしゃいましたら、ぜひ担当までご連絡ください。

【お問い合わせ】

● 移住・定住サポートセンター担当

町営住宅：建設水道課 ☎0237-74-4120
空き家・土地：つなぐ課 ☎0237-74-2112

まちづくりNews

環境に配慮した町へ 電気自動車用充電器設置の対話会

7月12日、電気自動車用充電器設置についての対話会が開催され、町内の事業所などから13名が参加しました。
提案業者から、電気自動車用の充電器を、経産省の補助金を活用して無料で設置できる事業や、今後の電気自動車数や充電施設数の推移などの説明がありました。
参加者からは、設置した場合の電気料金の負担や、契約・解約手続き、充電した場合の料金や支払い方法などについて質問をいただきました。
今後、町内の事業所に対し、商工会を通じて設置希望を募る予定です。



▲説明を受ける事業者の皆さん

持続可能な社会のために 西川町の脱炭素のための町民対話会開催

7月22日に「西川町の脱炭素のための町民対話会」を開催しました。
定員30名のところ39名の方が参加し、脱炭素（環境）についての意見をいただきました。

西川町	木質バイオマス利活用
西川町総合開発(株)	電気自動車
(株)パワーステック	産業ネットボトルキャップの再利用
	小水力発電事業

西川町の脱炭素の取り組みはこれからです！今回参加できなかった町民の皆さまからのご意見をお聞かせください！



▲こちらからアンケートにご協力お願いします！



▲対話会の様子

AIに方言を教えるために 町民オーディション開催

現在、町は県内で最も高齢化率が高くなっています。そのため町民の健康寿命を延ばすための専用アプリを搭載したタブレット端末の全戸配布を予定しています。アプリは、使用者の生活習慣に合わせた運動プログラムを提供。アプリの使用には、内蔵の人工知能（AI）と会話する必要があります。方言や訛りへの対応が課題となっています。そこで、AIに地元の言葉を吹き込み、学習させるため、方言指導の先生役オーディションを7月18日に開催しました。



は本当になった」のうづを山形弁にして読んでいただきます。審査のポイントは、地元の人が使う山形弁で、くせが強くなく、自然で標準的な訛りであること。参加者は、「標準語の文章を普段通りに直して話すのが難しかった」「全国初の取り組みは良い」「方言を理解してくれるサービスはありがたい」などと話し、アプリへ期待をよせました。
今後は、複数人の方が先生役として選ばれ、計8時間ほど方言指導として録音に協力いただきます。また、山形弁を習得されたAIは、音声による身近な施策提言や困りごとの意見集約などでも利用する予定です。



町民と協調し、「将来の病院像」を描く！ 今後の町立病院を考える対話会

病院の経営強化プラン作成に向けた「町立病院対話会」を7月24日に開催しました。現在の町立病院を利用する方や過去に利用した方と病院職員が一緒になり、正確な現状をとらえながら、4つのテーマについてグループトークを行いました。約50名の参加者により出された多くのご意見は、将来の存続可能な病院、「地域とともに歩む西川町立病院」を実現するために、今後作成するプランに反映させていただきます。

テーマ	グループトークで出された意見を一部紹介します
すがた・あり方	<ul style="list-style-type: none"> 現状の診療科体制で病院として存続させる 病棟は縮小して診療所にする 子どもたちが利用しやすい診療科があってほしい 多くの人の命を助ける病院であってほしい
工夫・改善	<ul style="list-style-type: none"> 待ち時間を表示するなど、外来待ち時間の見える化をする ホームページで経営状況など病院の情報を発信する 他病院と連携し曜日ごとに診療科を増やす 医療に携わる職業の魅力アピールし人材確保を図る
満足・継続	<ul style="list-style-type: none"> 救急体制を維持してほしい 病状と今後の対応について詳しい説明をしてほしい 機器の機能等をアピールしお知らせする 病院内の照明を明るくする
役割・期待	<ul style="list-style-type: none"> 町民のかかりつけの割合や病床利用率を高めていく 受付でタブレット使用やオンライン診療等のデジタル化を図る 町内宿泊とセットにした健診ドッグを実施する



自然体験を通じて地域活性化へ (株)モンベルと包括連携協定締結

7月22日、町と(株)モンベル（本社・大阪府大阪市、辰野勇代表取締役会長）は、アウトドア活動等の促進を通じた地域活性化のための包括連携協定を締結しました。
今後、同社のノウハウを活かし、月山などの町の豊かな自然を活用した地域活性化や町民生活の向上を図っていく予定です。



▲辰野会長と菅野町長

相互支援で地域課題解決へ 鶴岡信用金庫と包括連携協定締結

町と鶴岡信用金庫（鶴岡市、佐藤祐司理事長）は8月1日、地域の活性化と地域課題解決のための包括連携協定を締結しました。
今後、観光振興や地域特産品等物販の相互支援や出羽三山を囲む観光地の連携などに取り組み、「関係人口の拡大」「稼ぐ・稼ぎ続けるまちづくり」を目指していきます。



▲佐藤理事長と菅野町長

地域おこし協力隊通信

新たに2名の協力隊が着任しました



早田 一貴さん
令和5年6月1日～

こんにちは! 6月に株式会社 CASE の地域おこし協力隊で西川町にきました、早田一貴(わさだかずき)です。日々、皆さまをはじめ、多くの町民の方々に支えられ、西川町での暮らしを楽しみながら仕事に取り組んでおります。

私は農業分野をメインに活動してまいります。現在、わさびとさくらんぼのノウハウを学んでおります。ゆくゆくは山形のお米栽培にも取り組んでまいります。また、空き家の改修、地域のボランティア活動、マルシェ、西川中学校にて卓球のコーチなどさまざまな活動をさせていただいておりますが、まだまだ未熟故、皆さまのお力をお借りして、西川町の魅力を全国に届けていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



棚橋 祐介さん
令和5年6月1日～

こんにちは。株式会社 CASE 所属、地域おこし協力隊の棚橋祐介(たなはしゆうすけ)と申します。たなっしーと呼ばれています! 6月に西川町の町民となり、早くも2ヶ月が過ぎようとしています。日々、多くの町民の方々に支えられ、たくさんの知恵や知識を教えてください、町での暮らしを楽しみながら仕事に取り組んでおります。

現在の活動は教育を使命とし、町の教育を考える町民対話会や小学校の放課後子ども教室に参加させていただくなかで、子どもたちに必要なもの、子どもたちが求めているものは何なのかを、手探りですが模索中です。その他にも、関係人口拡大に向けた空き家活用やイベントの開催など、町おこしの取り組みを行っております。まだまだ至らぬ点がございますが、今後ともよろしくお願いいたします!



町民のお困りごと × 地域おこし協力隊インターン

冬の期間、除雪の人材不足解消を図るために地域おこし協力隊インターン制度を活用した取り組みを行いました。この夏、その制度を活用し、町民のお困りごとを手伝う取り組みを行っています。冬だけでなく、夏の西川を体験してもらい、より西川町を知ってもらいたいと募集。期間は6月1日～9月30日、1期20日間で5期、約30人のインターン生が入れ替わり滞在します(現在、3期生まで終了)。町民のお困りごとを手伝う『お困りごと手伝い隊』の活動やイベントスタッフなどの体験をとおして、西川町を知ってもらい、町民との交流を深めます。

●地域おこし協力隊インターンとは
初めに地域おこし協力隊とは、地方活性化のために総務省が推進する取り組みのひとつです。都市地域から過疎地域へ「地域おこし協力隊」として任命された隊員は、地域の魅力のPR、農業や漁業への従事、住民支援など、さまざまな地域協力活動を行いながらその地域への定着を図ります。
地域おこし協力隊インターンは、地方への移住に関心がある方や地域おこし協力隊をあまり知らない方へのアピール、また地域おこし協力隊への活動や生活を具体的にイメージしやすくするために創設されました。2週間～3ヶ月、隊員と同様の地域協力活動に従事することができます。
【お問い合わせ】
つなぐ課 ☎0237742112



図書館さ、いぐべ～。

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎85-0077

第169回芥川賞・直木賞決定

第169回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。図書館で貸出しできます。貸出中の時は予約もできますので、ご来館ください。

日本蘇苔類学会

第52回山形県西川大会応援展示

西川町で初となる日本蘇苔類学会が8月18日より交流センターあいべで開催されます。これを記念して、図書館では苔類に関する本の展示貸出を行います。コケの教科書やテラリウムの作り方などさまざまな苔類に関する本を展示します。9月中旬頃までの予定です

8月のおはなし会

日時：8月19日(土) 10時30分から

内容：

- 絵本……… おかしなおきゃくさま げけまつり
- おおがたえほん……… スイミー
- こうさく……… 夏のもよの『せんす』ほかにも
エプロンシアター、えほんなど



芥川賞
著/市川沙央
出版/文藝春秋



直木賞
著/垣根涼介
出版/文藝春秋



直木賞
著/永井紗耶子
出版/新潮社

3期生の声



▲石井翔さん
出身地：埼玉県

冬のインターンに参加し、雪の中で行うサウナを体験しました。雪の中のサウナも素晴らしかったのですが、夏の大井沢の自然の中で行うテントサウナもまた違う魅力がありました。また、冬は真っ白な雪景色しかありませんでしたが、夏はたくさんの緑の大自然を体感することができ、冬とは違う西川を知ることができてよかったです。



▲服部愛子さん
出身地：東京都

東京育ちで、生まれ育った場所とは違った価値観を得る体験がしたいと思い参加しました。活動をとおして感じたのは、人とのつながりが密であることでした。日常のどこかに人との関わりが感じられて、東京では得られない体験でした。また、ただの日常がすごく印象に残り、ちょっとしたことでも過ごす日々が楽しかったです。

Congratulations!

～おめでとうございます～

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

100歳のお誕生日、おめでとうございます！



この度、本町でめでたく3人の方が100歳のお誕生日を迎えられ、菅野町長よりお祝いの賀詞が手渡されました。



荒木 おみよさん (大正12年7月10日生)

荒木おみよさんは9人兄弟の7番目として、岩根沢で生まれ育ち、沼山に嫁ぎました。おみよさんに長生きの秘訣をお尋ねすると「家族の協力」と「食事」とのこと。年齢とともにおやつを控えて、3食をしっかり取るようにしているそうです。食事の時に家族から「これも食べて」とすすめられると、「いつもよりたくさん食べてしまうの」と笑顔で話されていました。また、一番楽しいことはケアハイツのデイサービスで皆さんとお話することだそうです。おみよさんのますますのご健康とご長寿をお祈りいたします。おめでとうございます。



太田 励さん (大正12年7月24日生)

太田励さんは吉川で生まれ育ち、小学校高等科を卒業後、高旭鉱山で土木見習いとして働きましたが、戦争が始まり、沖縄県宮古島に守備兵として派遣されたそうです。終戦後、大工を経て、土地家屋調査士・行政書士として働きました。励さんに長生きの秘訣を尋ねると、「負担にならない程度に体を動かすことがいい」とのこと。また、山形新聞に寄稿されており、戦争の体験や西川町のことについて伝えていきたいとのこと。励さんのますますのご健康とご長寿をお祈りいたします。おめでとうございます。



國分 克賢さん (大正12年7月31日生)

國分克賢さんは沼山で生まれ育ち、教師をしながら龍源寺の住職をつとめました。克賢さんに長生きの秘訣をお尋ねすると、「無理をしないで過ごすこと」とのこと。また、70歳頃からお酒を控えるようになったそうです。趣味は読書だそうです。最近は「本を開くと眠くなって、読めないんだあ」と笑って話していました。テレビを見ることも楽しみで、特にスポーツ中継が好きだそうです。克賢さんのますますのご健康とご長寿をお祈りいたします。おめでとうございます。

町出身の皆さんの各種大会結果をご紹介します！

JOCジュニアオリンピックカップ

- 令和5年度全国中学生カヌースプリント選手権大会
 (7月14日～17日・愛知県みよし市三好池カヌー競技場)
- ▼女子K1-2▽優勝||佐藤和佳(3年)・土田琳子(3年)
 - ▼女子K1-1▽2位||佐藤和佳▽8位||土田琳子
 - ▼女子K1-4▽2位||佐藤和佳・土田琳子
 - ▼太田里桜奈(3年)・高橋美礼(1年)
 - ▼男子K1-4▽4位||奥山日紀人(3年)・佐藤新(3年)・菅野崇太(3年)・高橋若菜(2年)
 - ▼中1特別K1-1▽8位||荒木久隆(1年)



▲優勝した佐藤さんと土田さん

令和5年度 山形県吹奏楽コンクール

(7月29日・やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館) 大ホール)

▼中学生小編成の部▽銀賞||西川中吹奏楽部

特別国民体育大会陸上競技山形県予選会兼第50回東北総合体育大会山形県予選会

(7月14日～16日・NDソフトスタジアム山形)

▼少年男子5000m競歩▽優勝||井上朋紀(東海山形高3年・海味)

特別体育大会東北ブロック大会兼第50回東北総合体育大会カヌー競技

(7月22日・月山湖カヌースプリント競技場)

【カヌースプリント競技】

- ▼少年男子K1-1▽優勝||太田陸斗(谷地高3年・吉川)
- ▼少年男子K1-2▽優勝||荒木啓佑(谷地高3年・吉川)・佐藤岳真(寒河江高2年・水沢)
- ▼少年女子K1-1▽優勝||土田琳子(西川中3年・大井沢)
- ▼少年女子K1-4▽優勝||鈴木葉月(谷地高3年・間沢)・鈴木紅葉(谷地高2年・間沢)・佐藤和佳(西川中3年・水沢)

人権に関する身近な相談役として

7月18日、人権擁護委員委嘱状交付式及び退任感謝状伝達式が役場で行われました。

この度、佐藤健一さん(新任)、奥山茂喜さん(再任・3期目)の2人が委嘱を受け、山形地方務局寒河江支局長より委嘱状が手渡されました。

また、2期6年3ヶ月にわたり人権擁護委員として活動し、退任された大泉頼成さんに感謝状が贈られました。



▲左から奥山茂喜さん、大泉頼成さん、佐藤健一さん

人権擁護委員とは…
 人権擁護委員とは、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けた人権の考えを広めたりする活動をしている民間の方々です。国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るため、全国市区町村に配置されています。

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



「人権擁護委員の方と！」
7月28日
年長（そらぐみ）さんが、人権擁護委員さんと一緒にじゃがいも掘りをしました。自分たちが種芋を植えて、草取りや水やりなどのお世話をしたじゃがいもの収穫です。汗をいっぱいかいて作業を頑張りました。

保育園コーナー



「食育・わんぱく教室」
8月2日
管理栄養士さんに教えてもらい、調理実習を行いました。今年は、自分たちで掘ったじゃがいもの皮をむき、包丁を使って切る行程をしました。切った後は、調理師さんをお願いして、給食のハヤシライスに変身しました。



未満児（あかいほし・あおいほし・きいろほし）のイベント「かっぱまつり」
8月4日
かっぱにちなんで、みんなが緑色の服を着て行われたかっぱまつり。今年もかわいいかっぱさん達が勢ぞろいし、楽しいひとときを過ごしました。



「ぼっかばかコーナー」
なつまつり
ぼっかばかに縁日ができました。くじ引きと千本引きの駄菓子屋さん。3日間の出店の期間に夏祭りの雰囲気を楽しみました。

伊藤貢先生の 元気アップ！ 運動教室 PART302



今月のテーマ：

水分補給のポイント

暑い日が続きます。今回は水分補給を少し深掘りします。一般的な熱中症予防であれば、「水」で十分と言われています。そして、水分補給をする際は、摂取の時間の間隔（タイミング）・量・水の温度を注意するとより効果的な水分補給につながります。

摂取する時間の間隔は、15〜30分、量は100cc程度、温度は5〜15℃が望ましいとされています。糖分を含む水分は、飲水量を増やすには有効ですが、濃度が上がると胃からの排出が遅くなるので注意が必要です。参考にしてください。

西川町では、毎週水曜日の14時から西川町民体育館で「楽楽運動教室（奇数週）」「ゆる楽運動教室（偶数週）」を定期的に開催しています。教室では、運動と一緒に、健康に関わる正しい情報もお伝えしています。安全で効果的な健康づくりのサポートをさせていただきます。ぜひ、教室をご活用ください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

参考・引用資料
●健康運動指導士・健康運動実践指導者必携ハンドブック 発行者 公益財団法人健康・体力づくり事業財団
●JHCT ベーシックカリキュラム 資料より 認定特定非営利活動法人 ジャパンハートクラブ

椅子に座って簡単ストレッチ！
背骨全体を伸ばしましょう！（30秒程度）



椅子に座って、体を丸める

脱力します。頭や体の重さを利用するイメージで行いましょう。

●注意点

- ①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
- ②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。
- ③体を起こす（戻す）際は、ゆっくり戻してください。血圧の変動に注意してください。

西川町保健センター

まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



■夏バテ対策をして暑い夏を乗り切ろう!!

夏バテとは・・・暑さで体力が消耗し、その結果、体のあちこちに感じる不調のこと。

【夏バテチェック】 ※下記のチェックにいくつか当てはまる方は「夏バテ」かもしれませんので要注意です。

- | | | |
|--|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 体がだるい | <input type="checkbox"/> イライラしやすい | <input type="checkbox"/> おなかの調子が悪い |
| <input type="checkbox"/> 朝起きた時にぐったり疲れている | <input type="checkbox"/> 立ちくらみやめまいがする | <input type="checkbox"/> よく眠れていない |
| <input type="checkbox"/> 何をしても意欲がわかない | <input type="checkbox"/> 暑いのか冷えているのかわかりにくい | <input type="checkbox"/> 食欲が低下する |
| <input type="checkbox"/> 熱はないのに熱っぽい | <input type="checkbox"/> 集中力が続かない | |

【夏バテ対策】

- ①水分補給：のどが渴いたと思う前にこまめな水分補給を屋内、屋外どちらでも行いましょう。
- ②食事：冷たいものを食べがちになりますが、冷たいものを摂りすぎると胃腸を壊す原因にもなります。温かいスープなど、温かい食べ物も取り入れるようにしましょう。
- ③睡眠：疲労は睡眠で回復され、特に22時～2時の間は成長ホルモン等の分泌が活発になります。その時間は十分に睡眠時間をとりましょう。

■虫歯ゼロのおともだち

6月28日に行われた3歳児健診の歯科検診で「虫歯ゼロ」の子どもたちを紹介します。



高橋 迅くん



伊藤 朗くん

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課町民つなぐ係

0237-74-2112 tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

大自然を感じながら駆け抜ける 第1回月山山麓ウルトラマラソン開催

7月9日、月山山麓ウルトラマラソン」が初開催され、228人が参加し、高低差550m、長さ約75kmのコースに挑戦しました。

参加者は、月山志津温泉から大井沢、大江町などを經由し同温泉に戻りました。コース途中のエイドステーション(休憩所)では、冷たいそばや飲料水などを提供し、参加者に声援を送っていました。



▲元気にスタートする参加者の皆さん

気持ちよく利用してもらうために まねきの丘清掃ボランティア活動

月山湖カヌースプリント競技場で、環境スポーツイベント「山形月山SEA TO SUMMIT2023」と全国高校総合体育大会(インターハイ)のカヌー競技が行われるのを前に、7月9日に清掃活動が行われました。町民有志団体「西川きれいにし隊」のメンバーやカヌー競技関係者、ユトリアグループなど約120人が参加。参加者は雨が降る中、駐車場や観客席の石段の雑草を、草刈り機や鎌で丁寧に取り除きました。



▲参加いただいた皆さん

暑さに負けずに夏を満喫 道の駅にしかわ夏祭り

7月30日、道の駅にしかわで夏祭りが行われ、多くの家族連れで賑わいをみせました。

当日は、町内外から19団体が来店。菅野町長もレストランカウンスターでソフトクリームを販売しました。また、西川スマイリークラブの子どもたちが元気いっぱいダンスパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げました。



▲笑顔で踊る子どもたち

寒河江川の環境保全のために 綱取地区河川敷でボランティア作業

7月14日、綱取地区の寒河江川河川敷で山形県建設業協会西村山支部青年部の皆さんによる草刈りなどのボランティア作業が行われました。同部では、山形県河川愛護活動の一環として、毎年作業を実施しています。当日は12人が参加し、約500mの区間で草刈りなどを行いました。

綱取区長の早坂力さんは「以前は町内で草刈りをしていましたが、少子高齢化で厳しくなりました。綺麗にしたいのでありがたい」と話しました。



▲作業の様子

地域の歴史を学び深めるために 西川町歴史文化学習会

西川町の歴史について知識を広げようことを目的とした「西川町歴史文化学習会」が開催されています。今年度の歴史文化学習会は、全5回で、第3回まで終了しました。第1回は「三山電車の歴史について」で講師は山形市在住の大風雅明さん。大風さんは東北芸工大の卒業論文で「月山の酒蔵資料館におけるモハ103型と三山線関連資料」の研究をし、現在は三山電車保存会にもご協力をいただいております。

第2回は「六十里越街道を知ろう」で寒河江市白岩臥龍橋から本町八聖山金山神社までの旧街道のルートに存在する旧跡や見どころを学習し、第3回「六十里越街道を歩こう」で現地を実際に巡って学習を深めました。旧街道の足跡は町内の身近なところにある点にあり、古の三山参りを現在に伝えています。歴史文化に興味をお持ちの方はどなたでも参加できます。残り2回の学習会、多くのご参加をお待ちしております。

【今後の日程】

◆8月23日 午後7時
「西川町の館跡について」

講師：保角里志氏(日本考古学協会、東根市)

◆9月13日 午前9時

「米沢市申子大黒天と小野川温泉を中心として」(現地学習)

【お問い合わせ】

生涯学習課
0237743131



▲六十里越街道を巡る様子

大人の夢を応援するために 「ももしま」スペシャルコンサート開催

シンガーソングライター・濱守栄子さんと未来アーティスト・たっちさんによる2人組ユニット「ももしま」が7月24日、水沢温泉館憩いスペースでスペシャルコンサートを開催しました。「ももしま」は、「1000人の大人の夢を加速させるため」に日本周ツアーを行っており、「歌とワークショップ」形式で夢を叶えるオリジナリメントを届けています。

「ももしま」の2人は、「夢を叶えるのは1人では難しいので、つながりを広げて夢の実現につなげていただきたいです」と話していました。



▲歌を披露する濱守栄子さん

まちづくり応援団の相原恵美さんより ご寄付をいただきました

吉川出身の相原恵美(旧姓：横山)さんより町へご寄付をいただきました。

相原さんは、西川町へ恩返しをしたいという思いが強く、平成9年より設立された町のまちづくり応援団(関東ブロック)への入会やふるさと納税などで長年に渡り町を応援してくださいました。この度、まちづくり応援団が解散する運びとなり、改めて「西川町に恩返しをしたい!」という思いからご寄付にいたしました。

いただいたご寄付は町の活性化に役立たせていただきます。大変ありがとうございました。

町が推進しているデジタル技術を学ぼう!

西川中3年生がメタバース体験



7月24日、西川中3年生42名が、町の政策アドバイザーを務める東武トップツアーズの利重和彦さんを講師に迎え、仮想空間（メタバース）を体験する特別授業を受けました。

町が取り組んでいるデジタル技術に触れることで、情報技術活用をととした地域活性化について考えるきっかけにしようと実施しました。

生徒たちは自分の分身となる「アバター」の操作方法を学び、メタバース上で流れる動画を見たり、車を動かしたりしました。井場夕梨さんは、「最初は難しかったが、操作に慣れると、現実とは違った動きができて楽しかったです」と話しました。

今月の表紙

7月23日に「山形 月山SEA TO SUMMIT」のアクティビティが行われました。競技開始前のスタート式では選手を代表して、町の地域おこし協力隊であり、今大会広報部長を務めた青木聖美さんとそのお父様の青木哲志さんが選手宣誓を行い、参加者の士気を高めました。
(2・3ページに関連記事)



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<http://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



8/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,275人 女 2,418人 計 4,693人 世帯数 1,804 ()は前月比 (-6) (-11) (-17) (-4)